

2015年6月11日

2015年ミラノ国際博覧会「ジャパンサローネ」に出展

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス(本社:東京都千代田区、社長:越智 仁、以下「MCHC」)は、2015年5月1日から10月31日まで「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマにイタリア・ミラノで開催される「2015年ミラノ国際博覧会」(「ミラノ万博」)の日本館に協賛しています。

日本政府・企業のミラノ万博への取り組みの一環として、日本の優れた「食」と「農」に関わる知恵と技を発信するため、ミラノ市内に「ジャパンサローネ」が設置されます。MCHC はジャパンサローネに出展し、MCHC グループの食・水・ヘルスケアなどへの取り組みを紹介します。

- 名称 : ジャパンサローネ
- 主催 : ジャパンサローネ実行委員会
- 開催期間 : 2015年6月25日(木)～7月13日(月)
※MCHC 出展期間は6月29日(月)～7月2日(木)の4日間
- 会場 : ステッリーネ宮殿
- 当社展示内容: 完全人工光型植物栽培設備「Plant Plant™」
ゼオライト膜「KonKer™」を利用した飲料・食品の濃縮技術、他
(展示品の詳細は別紙をご覧ください)



化学産業が提供する製品やサービスは、食糧・水・環境などいわゆるグローバルアジェンダといわれる問題解決のために必要不可欠なソリューションとなっています。MCHC は、独自のコンセプトである「KAITEKI」(時を越え、世代を超え、人と社会、そして地球の心地よさが続く状態)のもと、「機能商品」、「ヘルスケア」、「素材」の3つの分野で事業活動を展開していますが、その中から植物工場、お酒の濃縮技術、水浄化技術など広く「食」に関わる製品・技術を展示し、また、お酒の試飲や水の飲み比べなども用意いたします。

ミラノ万博は、「食」をテーマとした史上初めての万博であり、148カ国・国際機関が参加を表明(2015年6月現在)、会期中は約2,000万人の来場が想定されています。ミラノ万博が掲げる課題に対し、日本館は「Harmonious Diversity - 共存する多様性 -」を出展テーマに、日本の農林水産業、食にまつわるさまざまな取り組み、日本の食や食文化の技などを紹介します。

こうした取り組みの一環として、日本政府、日本館協賛企業・団体が参画し、日本の優れた「食」と「農」に関わる知恵と技を戦略的に発信する場として、「ジャパンサローネ」が設置されることとなりました。

ミラノ万博日本館およびジャパンサローネを通じて日本の食文化・技術への理解が深まるよう、MCHC は応援してまいります。

お問合せ先

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 03-6748-7140

《ジャパンスローネでの主な展示予定製品・技術》



完全人工光型植物栽培設備
Plant Plant™
[三菱化学]



ゼオライト膜「KonKer™」を利用した
飲料・食品の濃縮技術
[三菱化学]



太陽光利用型植物工場
ナッパーランド®
[三菱樹脂]



食品包装材
HOSTAPHAN®(左)、ダイアミロン®(右)、他
[三菱樹脂]



家庭用浄水器
クリンスイ
[三菱レイヨン・クリンスイ]



真空保温調理器
シャトルシェフ®
[サーモス]



移動式免疫発光測定装置
PATHFAST™
[LSI メディエンス]



乾燥粉末吸入向けカプセル
Quali-V®-I
[クオリカプス]



小型酸素濃縮装置
オキシウェルポータブル
[大陽日酸]



小型携帯酸素ポンプ
タッチワンデュオ®
[大陽日酸]